



まほうつか
魔法使い
アクア



さすが
です!

す...
すごい!



わあ...

いらいにん しょうねん
依頼人の少年
ソラ



そう私にとって
これくらい
当然のこと

なぜなら私は
魔法学校をトップの
成績で卒業した
エリートなのだから

...でも
だからこそ
バテは
いけない



このくらい
当然

さぐずぐず
してないで
行くわよ

あ...
はい!

へいせい ひょうじょう うら
■平静な表情の裏に.....。



わたし
私が

**オムツを
している
ことに!!**



私が使う魔法は
自らの魔力を
水に変えて
撃ち出す「水撃魔法」

このエリートの
私にふさわしい
強力な魔法だが

ただ一つ
欠点が存在する



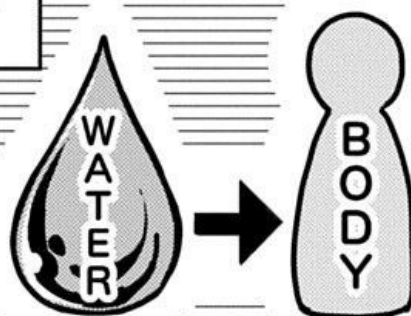
トイレが

近くなる

余剰な水分が
体内に吸収
される事

それは魔法を
使用した際

つまり



まあ今回は
浅い階層での
薬草採取の護衛

おそらく
魔法はそんなに
使わないはず



屈辱だわ！
最悪の場合に
備えてとはいえ

このエリートたる
私がこんな...

もじ...

もじ...

でも私外で
トイレとか
絶対無理だし...

うう...なんか
ゴワゴワして
落ち着かない
...







アクアさん
ですよーね！

すごい人
だって
聞いて…

ぼ
僕…
お仕事お願い
したいんです！！

出

最

カ

大

※イメージ映像

何かのゲーッ



あ ありがとう
ございましたあゝ

すっごく
怖くて

動けま
せん
でしたあゝ



ポタ
ポタ





